

おしらせ
第3弾

第4回

療看護研究会

テーマ

診療の補助の拡がりを 見える化しよう！

日時 令和8年2月28日（土）

受付 13時 開催 13時30分～16時

同日開催 第2回 診療看護研究会定期総会
16時～16時30分

会場 自治医科大学看護学部

北棟2階地域ケア実践演習室

ZOOM配信あり（ハイブリッド開催）

対象 看護師特定行為に興味のある方
(職種不問)

申込 研究会参加申込QR 総会参加申込/委任状QR



みんなの
ご参加
お待ちして
ます！



裏面に続く→

演者



獨協医科大学病院

特定行為研修 修了看護師 小泉 謙悟 先生

「PICCチーム設立の軌跡と実践報告」(仮)



日本医科大学 千葉北総病院

診療看護師 若狭 竜太 先生

「現場で本当に回る協働とは？：心臓血管外科の
NP・特定行為研修修了看護師のリアル」(仮)

開催趣旨

本研究会は、看護師特定行為（以後、特定行為）を含む診療の補助に関する教育研修や看護実践の発展、交流及び研究活動の推進をはかることを目的とし、2024年1月10日に設立された。

第1回診療看護研究会では、在宅における特定行為の実践導入から、活動が軌道に乗り定着に至るまでを含めたプロセスと、病院と地域の連携に焦点をあて地域医療に貢献できたgoodpractice等に関する実践報告等を行った。

第2回研究会では、地域医療における連携について考える機会づくりとして、在宅や訪問看護ステーションでの実践報告や課題等の情報提供をもとに看看連携や多職種連携についてディスカッションを行った。

第3回研究会では「シームレスな医療提供体制を考えよう～海外の実践例から学ぶ～」をテーマに、オーストラリアの訪問看護で急性期対応を行っている実践報告と質疑応答を行った。海外での看護活動は医療制度や国民性による価値観の違いがあり、日本での看護実践を改めて考える機会となった。患者・家族にとって最善の医療・看護をタイムリーに提供できるように、特定行為研修修了看護師は多職種間の調整役を担っており、認知度も向上してきた。さらに、組織の垣根を越えた連携や在宅で急性期治療を受ける体制構築にも視野を広げ、今後更なる特定行為実践の拡大や後進の育成が求められている。

そこで第4回研究会では、実践者の人材育成に関する活動や、診療の補助に関する実践報告をもとにディスカッションを行い、診療の補助の拡がりを見える化する機会としたいと考えている。

主催：診療看護研究会

ホームページ QRコード

